

宮古市「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」結果 【津軽石地域版】

1. 調査概要及び回収状況

(1) 調査概要

調査方法：郵送による配布、回収
 調査期間：【発送】平成23年7月8日 【回答の返送締切】平成23年7月26日
 対象者：被災地域及びその周辺の各世帯
 配布数：【市全体】6,644世帯 【津軽石地域】541世帯

(2) 回収状況(平成23年8月16日時点)

回収数：【市全体】3,200世帯 【津軽石地域】293世帯
 回収率：【市全体】48.2% 【津軽石地域】54.2%

2. 集計結果(津軽石地域分)

(1) 回答者の属性

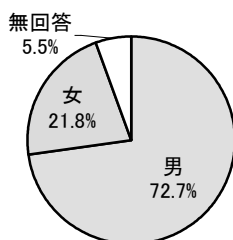
問1：世帯の代表の方についてお聞きします。
 それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

- 世帯の代表の方にお答えいただいたことにより、「男性」、「60歳代」の回答者が多くなっています。また、家族構成は一世代世帯、二世代世帯をあわせると60%以上を占めています。

ア：性別

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
男	2,172	67.9%	213	72.7%
女	814	25.4%	64	21.8%
無回答	214	6.7%	16	5.5%
計	3,200	100.0%	293	100.0%

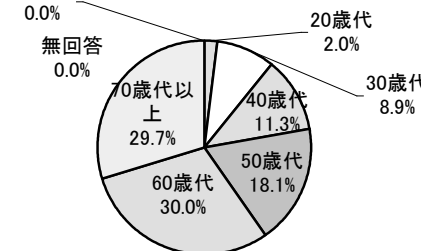
ア：性別(N=293)



イ：年齢

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
10歳代	1	0.0%	0	0.0%
20歳代	51	1.6%	6	2.0%
30歳代	218	6.8%	26	8.9%
40歳代	393	12.3%	33	11.3%
50歳代	572	17.9%	53	18.1%
60歳代	875	27.3%	88	30.0%
70歳代以上	1,050	32.8%	87	29.7%
無回答	40	1.3%	0	0.0%
計	3,200	100.0%	293	100.0%

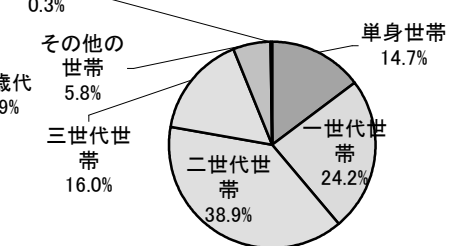
イ：年齢(N=293)



ウ：現在の家族構成

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
単身世帯	592	18.5%	43	14.7%
一世代世帯	786	24.6%	71	24.2%
二世代世帯	1,142	35.7%	114	38.9%
三世代世帯	425	13.3%	47	16.0%
その他の世帯	194	6.1%	17	5.8%
無回答	61	1.9%	1	0.3%
計	3,200	100.0%	293	100.0%

ウ：現在の家族構成(N=293)



- 現在のお住まいが震災前とは別の方においては、「仮設住宅」と「民間賃貸住宅」が多くなっています。

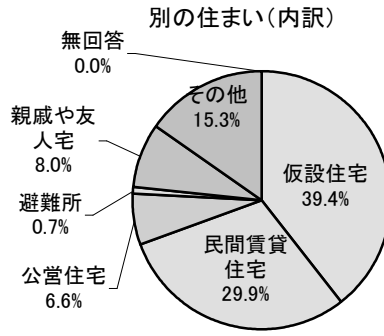
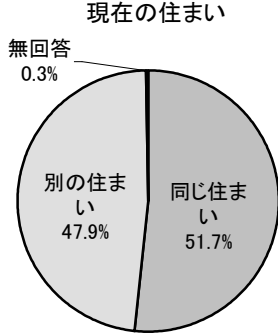
エ:現在の住まい

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ住まい	993	36.8%	148	51.7%
別の住まい	1,672	61.9%	137	47.9%
無回答	35	1.3%	1	0.3%
計	2,700	100.0%	286	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた2,700人(津軽石286人)を対象

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
仮設住宅	793	47.4%	54	39.4%
民間賃貸住宅	368	22.0%	41	29.9%
公営住宅	78	4.7%	9	6.6%
避難所	33	2.0%	1	0.7%
親戚や友人宅	177	10.6%	11	8.0%
その他	214	12.8%	21	15.3%
無回答	9	0.5%	0	0.0%
計	1,672	100.0%	137	100.0%

※[エ]で「別の住まい」と回答した1,692人(津軽石137人)を対象



- 震災前に仕事に就いていた方の職業は、約22%が「製造業・建設業」で、職場については約25%が「津軽石」となっています。
- 震災前に仕事に就いていた方のうち、震災後に何らかの変化(休業、廃業、退職、失業)があったと回答した方は、約28%となっています。

オ:震災前の仕事

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業	28	0.9%	5	1.7%
漁業	371	11.6%	10	3.4%
製造業・建設業	447	14.0%	64	21.8%
販売・サービス業	618	19.3%	50	17.1%
公務員・団体職員	280	8.8%	26	8.9%
主婦(夫)	137	4.3%	13	4.4%
学生	1	0.0%	0	0.0%
無職	985	30.8%	107	36.5%
その他	263	8.2%	16	5.5%
無回答	70	2.2%	2	0.7%
計	3,200	100.0%	293	100.0%

カ:震災前の職場の場所

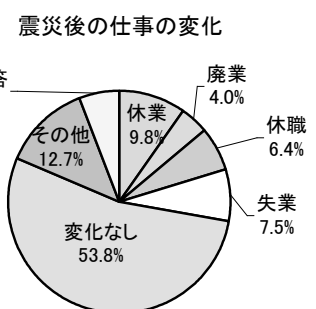
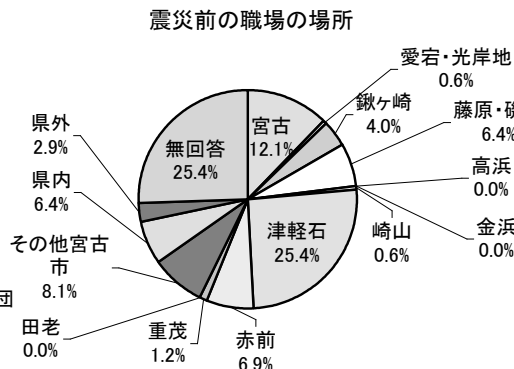
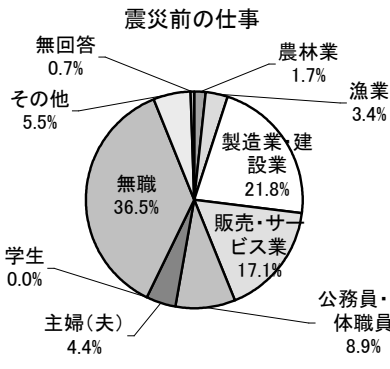
	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
宮古	418	20.1%	21	12.1%
愛宕・光岸地	51	2.5%	1	0.6%
鍬ヶ崎	144	6.9%	7	4.0%
藤原・磯鶏	177	8.5%	11	6.4%
高浜	34	1.6%	0	0.0%
金浜	26	1.3%	0	0.0%
崎山	37	1.8%	1	0.6%
津軽石	78	3.8%	44	25.4%
赤前	66	3.2%	12	6.9%
重茂	59	2.8%	2	1.2%
田老	233	11.2%	0	0.0%
その他宮古市	141	6.8%	14	8.1%
県内	85	4.1%	11	6.4%
県外	43	2.1%	5	2.9%
無回答	486	23.4%	44	25.4%
計	2,078	100.0%	173	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた2,078人(津軽石173人)を対象

キ:震災後の仕事の変化

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
休業	396	19.1%	17	9.8%
廃業	138	6.6%	7	4.0%
退職	99	4.8%	11	6.4%
失業	182	8.8%	13	7.5%
変化なし	895	43.1%	93	53.8%
その他	182	8.8%	22	12.7%
無回答	186	9.0%	10	5.8%
計	2,078	100.0%	173	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた2,078人(津軽石173人)を対象



(2) 震災前の住まい、今後の住まいについて

問2：震災前のお住まいについてお聞きします。

それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

問3：今後の住まいをどのようにお考えですか。

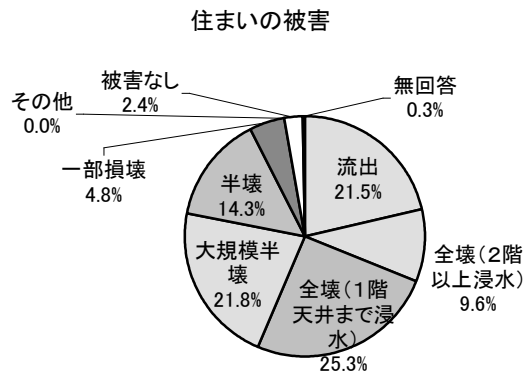
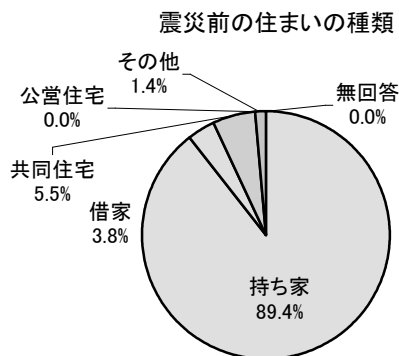
- 震災前の住まいのほとんどが「持ち家」となっています。
- 住まいの被害については、「流出」、「全壊」、「大規模半壊」の被害を受けている方が、回答者の約80%を占めています。
- 今後の住みたい場所については、「震災前と同じ場所」に住みたいと考えている方が45.8%となっています。（4ページ）
- 住みたい場所の理由は「住み慣れた地域を離れたくない」、「住宅の建築や敷地の取得に費用がかかる」が多くなっています。（4ページ）
- 今後の住まいとしては、40%以上が「既に補修」もしくは「補修予定」となっています。（4ページ）
- 住みたい場所と考えている住まいをクロス集計すると、「同じ場所」で「既に補修」が最も多く、約20%となっています。（4ページ）

ウ：震災前の住まいの種類

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
持ち家	2,639	82.5%	262	89.4%
借家	225	7.0%	11	3.8%
共同住宅	218	6.8%	16	5.5%
公営住宅	26	0.8%	0	0.0%
その他	41	1.3%	4	1.4%
無回答	51	1.6%	0	0.0%
計	3,200	100.0%	293	100.0%

エ：住まいの被害

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
流出	853	26.7%	63	21.5%
全壊(2階以上浸水)	307	9.6%	28	9.6%
全壊(1階天井まで浸水)	524	16.4%	74	25.3%
大規模半壊	408	12.8%	64	21.8%
半壊	305	9.5%	42	14.3%
一部損壊	147	4.6%	14	4.8%
その他	83	2.6%	0	0.0%
被害なし	500	15.6%	7	2.4%
無回答	73	2.3%	1	0.3%
計	3,200	100.0%	293	100.0%



ア-1:住みたい場所

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ場所	990	36.7%	131	45.8%
近くの高台など	753	27.9%	66	23.1%
市内	639	23.7%	51	17.8%
市外	99	3.7%	19	6.6%
その他	72	2.7%	5	1.7%
無回答	147	5.4%	14	4.9%
計	2,700	100.0%	286	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(津軽石286人)を対象

ア-2:考えている住まい

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
既に補修	488	18.1%	73	25.5%
補修予定	269	10.0%	51	17.8%
新築	811	30.0%	70	24.5%
民間賃貸	89	3.3%	9	3.1%
公営住宅	176	6.5%	14	4.9%
未定	486	18.0%	32	11.2%
その他	82	3.0%	6	2.1%
無回答	299	11.1%	31	10.8%
計	2,700	100.0%	286	100.0%

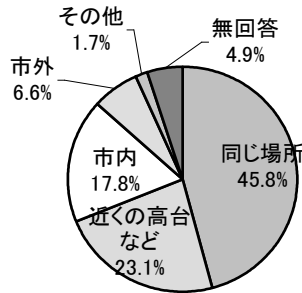
※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(津軽石286人)を対象

イ:理由(複数回答)

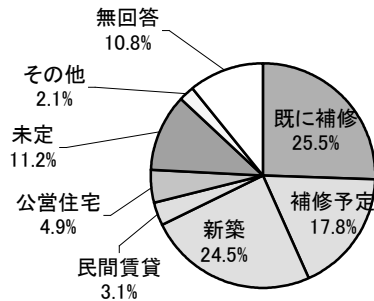
	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
離れたくない	1,441	53.4%	156	54.5%
仕事場が近い	442	16.4%	40	14.0%
生活に便利	871	32.3%	56	19.6%
津波被害を受けたくない	1,037	38.4%	91	31.8%
近所づきあい	640	23.7%	69	24.1%
子どもの教育環境	229	8.5%	40	14.0%
早く住宅確保	812	30.1%	95	33.2%
費用がかかる	797	29.5%	103	36.0%
その他	121	4.5%	14	4.9%
無回答	143	5.3%	13	4.5%
計	6,533		677	

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(津軽石286人)を対象

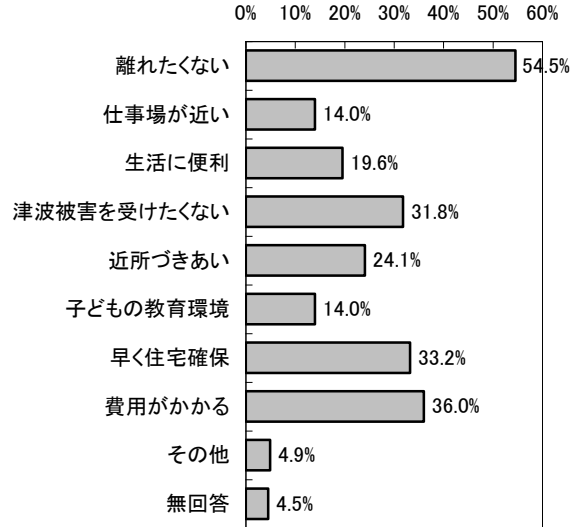
住みたい場所



考えている住まい



理由(複数回答)



住みたい場所×考えている住まいのクロス

8. 津軽石 住みたい場所	考えている住まい								
	既に補修	補修予定	新築	民間賃貸	公営住宅	未定	その他	無回答	計
同じ場所	58 20.3%	40 14.0%	8 2.8%		1 0.3%	3 1.0%	4 1.4%	17 5.9%	131 45.8%
近くの高台など	3 1.0%	8 2.8%	36 12.6%	3 1.0%	3 1.0%	8 2.8%	1 0.3%	4 1.4%	66 23.1%
市内	8 2.8%	1 0.3%	14 4.9%	4 1.4%	9 3.1%	11 3.8%		4 1.4%	51 17.8%
市外		1 0.3%	8 2.8%	1 0.3%		7 2.4%	1 0.3%	1 0.3%	19 6.6%
その他	1 0.3%		3 1.0%			1 0.3%			5 1.7%
無回答	3 1.0%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	2 0.7%		5 1.7%	14 4.9%
計	73 25.5%	51 17.8%	70 24.5%	9 3.1%	14 4.9%	32 11.2%	6 2.1%	31 10.8%	286 100.0%

(3) 今後の不安、備えについて

問4：これからの暮らしにおいて、不安なことについてお聞かせください。

問5：あなた自身で、今回の震災をきっかけに今後どのような備えをしたいと思いますか。

- 今後の不安としては、「余震・二次災害」が約66%と多く、次いで「住宅の確保」となっています。
- 今後の備えとしては、「家族での避難場所などの話し合い」、「非常時持出袋の準備」が多くなっています。

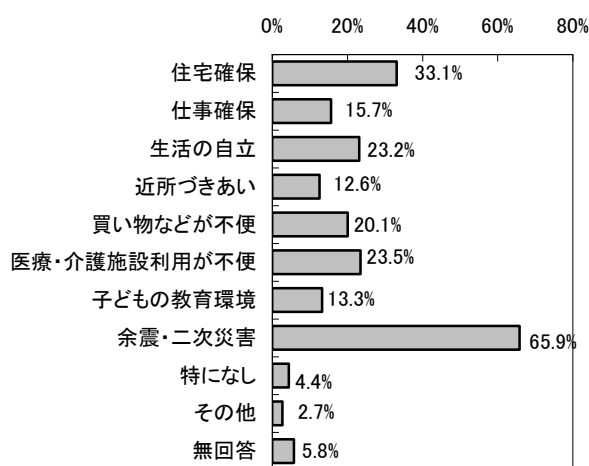
問4:これからの不安(複数回答)

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
住宅確保	1,208	37.8%	97	33.1%
仕事確保	551	17.2%	46	15.7%
生活の自立	947	29.6%	68	23.2%
近所づきあい	526	16.4%	37	12.6%
買い物などが不便	806	25.2%	59	20.1%
医療・介護施設利用が不便	817	25.5%	69	23.5%
子どもの教育環境	310	9.7%	39	13.3%
余震・二次災害	1,705	53.3%	193	65.9%
特になし	154	4.8%	13	4.4%
その他	104	3.3%	8	2.7%
無回答	173	5.4%	17	5.8%
計	7,301		646	

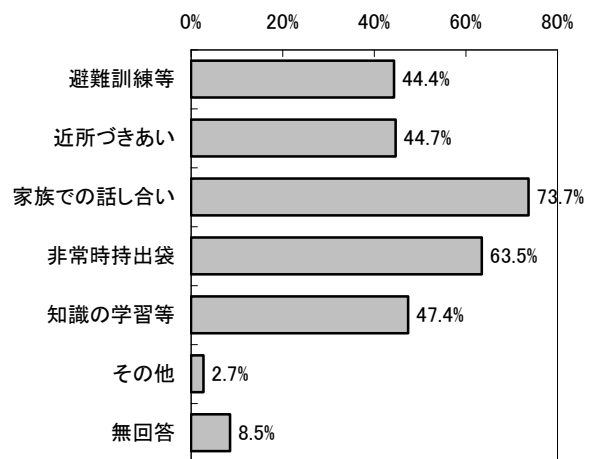
問5:今後の備え(複数回答)

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
避難訓練等	1,298	40.6%	130	44.4%
近所づきあい	1,406	43.9%	131	44.7%
家族での話し合い	2,043	63.8%	216	73.7%
非常時持出袋	1,970	61.6%	186	63.5%
知識の学習等	1,502	46.9%	139	47.4%
その他	128	4.0%	8	2.7%
無回答	333	10.4%	25	8.5%
計	8,680		835	

これからの不安(複数回答)



今後の備え(複数回答)



(4) 復興に向けた今後の施策について

問6：現在、宮古市では復興に向けた計画づくりに向け、次の3つの分野で施策の検討を進めています。「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」それぞれの分野について、大切であると思うことは何ですか。特に、当てはまるもの3つまでの番号を記入してください。また、施策に対するお考えや提案などがありましたらお書きください。

- 「すまいと暮らしの再建」に関しては、回答者の半数以上が「経済的な支援など生活再建に向けた取り組み」と「住宅再建への支援など住まいの確保への取り組み」を選択し、次

いで「雇用の場の確保」が多くなっています。

- 「産業・経済復興」に関しては、「施設の復旧、生産者支援、魚市場整備等の漁業振興に向けた取り組み」と「生産施設の復旧、生産者支援、地産地消等の農林業振興」が高い割合となっています。
- 「安全な地域づくり」に関しては、「道路や公共交通の再整備など災害に強い交通網の形成に向けた取り組み」と「防潮堤や湾口防波堤等のハード整備に向けた取り組み」が多くなっており、ハード整備への取り組みが多く求められています。

ア:すまいと暮らしの再建(複数回答)

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
経済的な支援等	1,706	53.3%	174	59.4%
住宅再建支援	1,717	53.7%	152	51.9%
健康の維持	443	13.8%	46	15.7%
医療体制の確保	1,067	33.3%	95	32.4%
児童・生徒の心のケア	239	7.5%	32	10.9%
学校教育環境の整備	370	11.6%	35	11.9%
生涯学習等の環境整備	137	4.3%	17	5.8%
雇用の場の確保	1,139	35.6%	107	36.5%
地域コミュニティ	421	13.2%	35	11.9%
無回答	433	13.5%	30	10.2%
計	7,672		723	

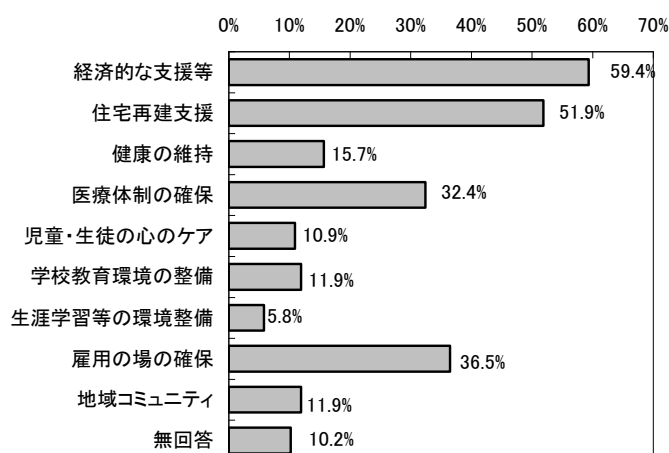
イ:産業・経済復興(複数回答)

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業振興	967	30.2%	120	41.0%
漁業振興	1,522	47.6%	124	42.3%
製造業振興	815	25.5%	88	30.0%
商業・サービス業振興	881	27.5%	74	25.3%
観光振興	467	14.6%	36	12.3%
港湾振興	489	15.3%	22	7.5%
産業創出	689	21.5%	71	24.2%
事業創出	438	13.7%	39	13.3%
無回答	746	23.3%	76	25.9%
計	7,014		650	

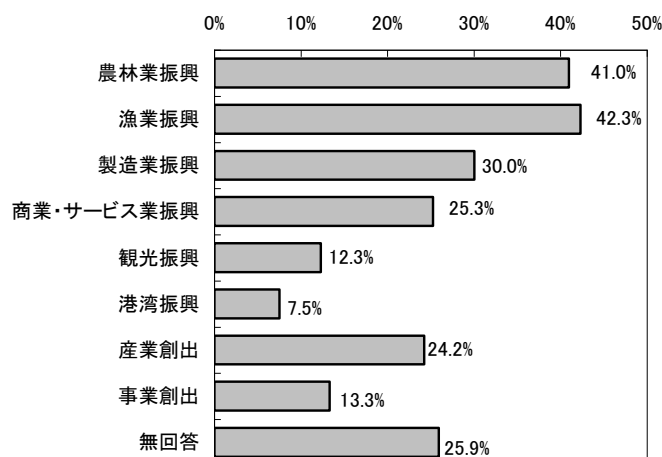
ウ:安全な地域づくり(複数回答)

	全体		津軽石	
	回答数	割合	回答数	割合
防波堤等	1,838	57.4%	164	56.0%
交通網整備	1,717	53.7%	183	62.5%
土木施設復旧	1,361	42.5%	130	44.4%
地域防災力	444	13.9%	45	15.4%
情報伝達・避難計画	872	27.3%	77	26.3%
災害記憶継承	277	8.7%	21	7.2%
自然エネルギー	545	17.0%	57	19.5%
無回答	515	16.1%	41	14.0%
計	7,569		718	

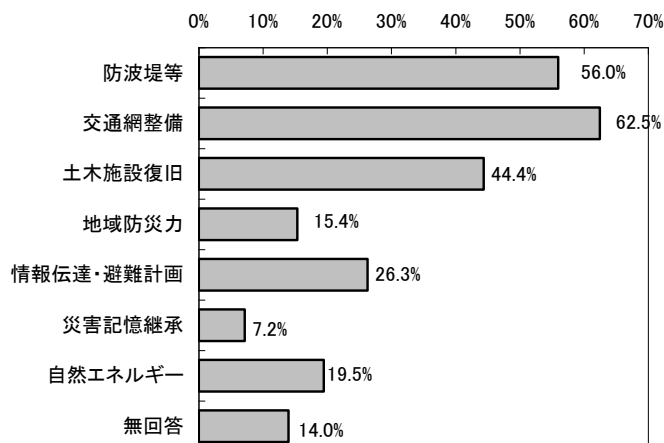
すまいと暮らしの再建(複数回答)



産業・経済復興(複数回答)



安全な地域づくり(複数回答)



■ 主な自由意見（原文要約）

- ・ 住まいとくらしの再建に関して、「家を建てるための土地の確保」、「住宅確保のための費用」などについての意見があります。
- ・ 産業・経済復興に関して、「雇用の確保」、「観光の振興」などについての意見があります。
- ・ 安全な地域づくりに関して、「防潮堤や道路の整備」、「避難場所の確保」などについての意見があります。
- ・ その他として、「人にやさしいまちづくり」や「地域コミュニティの重要性」などについての意見があります。

住まいとくらしの再建について	
1	生活の苦しさが心配。アパートや仮設にも入れない人はこれからどうなるのか。
2	土地があっても低地のため家を建てられない。高台の代替地を提供してほしい。
3	家がかろうじて残され今補修しているが、毎日生活するためにお金が必要。
4	高台に移転する場合は、高齢者も生活できるように公共交通の便利な団地が必要。
5	被災した用地の買収や借り上げに取り組み、ローンの残っている人の負担軽減をしてほしい。
6	宮古市内にボランティアや介護の人が住めるようなスペースがほしい。
7	若者達の雇用の場が早く多くできるようになってほしい。
8	防波堤や堤防を作る時の作業員などで、地元の仕事を与えてほしい。被災した際の処理も直後から地元の人を使えるように人材や業者のマップを用意してはどうか。
9	通学のための鉄道が不通になり、バスでは本数が足りない。
10	シーアリーナのような市民の方が安く、気軽に借りられるような施設がほしい。
産業・経済復興について	
1	人口減にならないよう、雇用確保のため企業の復旧と生産者支援を行う事が必要。
2	今回の津波で、社長が亡くなり二代目に引き継いだ会社もたくさんあるため、そこを倒産させないように市独自のサポートをしてほしい。
3	工場や生産施設、道路の早い復興をお願いしたい。
4	働き場所をなくした若い人達が地元を離れてしまうので、新しく事業をはじめの人を助けるための低資金でも開業できるような場所を作ってほしい。
5	すばらしい自然に恵まれた宮古市なので、雇用と観光に多大な力を入れてほしい。
6	観光の目玉というか、もっと大きなアピールするものがあればいい。
7	バイオマス発電や再生可能エネルギーを使った新しい技術を取り入れてはどうか。
安全な地域づくりについて	
1	防潮堤、湾口防波堤の整備に早く取り組んでほしい。
2	津軽石川沿いの国道45号や対岸の堤防をかさ上げしてほしい。
3	高台に避難場所を作り、そこへの避難道路を複数通す必要がある。
4	海なしでは宮古は成り立たないと思うので、万が一の時に逃げられる強固な建物などを造り、海と共存できる方向で復興を進めてほしい。
5	三陸道を早期に完成させ防災道路として活用してほしい。
6	宮古の道路は昔から幅が狭いので広くしてほしい。街灯が無くなり暗く、安心して歩けない。
7	津軽石でも高台の山をくずして団地を作るようにしてほしい。
8	新里、川井地区など内陸部の土地が多いので、その土地の活用を考えてはどうか。
9	市役所を高台に移転し、その周辺を災害時の避難場所や仮設住宅の建設用地にしてはどうか。
10	自家発電や太陽光発電など、電力会社以外の緊急用の設備を考えてみてはどうか。
その他	
1	避難する際に、寝たきりや車椅子等を使用している老人は、一人では避難が難しく、人の手を借りなければならぬが、どうしたらいいのか。
2	身障者用の避難所の確保、寝たきり障害者のプライバシー確保など、弱者に対するやさしいまちづくりが必要。
3	一ヶ月ほど避難所生活をしたが、地域のコミュニケーションが普段から必要だと痛感した。

MEMO

A large rectangular area with rounded corners, containing numerous horizontal dashed lines for writing.